

令和8年度 旭市一般会計 9月補正予算（第2号）

1. 予算規模

一般会計の補正予算は、11億3,300万円の増額で、9月補正後の予算規模は、341億9,400万円となりました。

令和7年度の同時期の予算額と比較すると9億9,300万円（2.8%）の減となりました。

（単位：千円）

区 分	令 和 8 年 度	令 和 7 年 度	増 減 率
現 計 予 算	33,061,000	34,492,000	△4.1%
9 月 補 正	1,133,000	695,000	—
補 正 後 予 算	34,194,000	35,187,000	△2.8%

2. 歳 出

① 総務費

- 財政調整基金積立金 700,000 千円
令和7年度決算剰余金の1/2の積立。
- ふるさと応援寄附推進事業 133,313 千円
寄附金額の増加による返礼品等にかかる費用の増。
- ふるさと応援基金積立金 240,000 千円
寄附金額の増加による積立金の増。

② 民生費

- 障害者福祉事務費 1,826 千円
重度障がい者医療費助成システムのオンライン資格確認機能の導入にかかる改修に要する費用。
- 福祉事業所物価高騰対策支援金給付事業 10,825 千円
市内の福祉事業所に対し、一事業所当たり15万円を給付する「福祉事業所物価高騰対策支援金」の支給に要する費用。
- 介護事業所物価高騰対策支援金給付事業 15,336 千円
市内の介護サービス事業所に対し、一事業所当たり15万円を給付する「介護事業所物価高騰対策支援金」の支給に要する費用。

○ 地域密着型サービス拠点等整備事業 756 千円

物価高騰への対応として県補助金の交付基礎単価が引上げられたことに伴う「地域密着型サービス拠点等施設整備費補助金」の増。

③ 衛生費

○ 医療機関物価高騰対策支援金給付事業 9,774 千円

市内の医療機関に対し、一医療機関当たり15万円を給付する「医療機関物価高騰対策支援金」の支給に要する費用。

○ 環境衛生事務費 968 千円

JR旭駅構外の女性用トイレの洋式化改修に要する費用。

○ 塵芥処理施設運営費 8,695 千円

原材料等の価格上昇により予定数量を確保できなかった、指定ごみ袋の追加購入に要する費用。

④ 農林水産業費

○ 水産業総務事務費 9,135 千円

海匠漁業協同組合が管理する飯岡漁港内の防犯灯の更新費用に対して交付する「漁業振興事業補助金」の増。

⑤ 商工費

○ 企業誘致等支援事業 600 千円

設備投資を行い、固定資産税の課税免除の対象となった事業者が、市民を新たに雇用した場合に交付する「雇用奨励金」の増。

⑥ 公債費

○ 借入金償還費 1,600 千円

令和7年度の県営土地改良事業負担金の財源として借り入れた、地方債の繰上償還に要する費用。

○ 公債諸費 172 千円

地方債の繰上償還に伴い生じる補償金に要する費用。

3. 歳 入

① 国庫支出金

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 32,144 千円
- 地域診療情報連携推進費補助金 913 千円

② 県支出金

- 介護施設等整備事業交付金 756 千円
- 千葉県観光地魅力アップ整備事業補助金 484 千円

③ 寄附金

- ふるさと応援寄附金 240,000 千円

④ 繰入金

- 介護保険事業特別会計繰入金 53,271 千円
- ふるさと応援基金繰入金 600 千円
- 漁業振興基金繰入金 9,135 千円

⑤ 繰越金

- 前年度繰越金 793,842 千円

⑥ 諸収入

- 県営土地改良事業負担金返還金 1,855 千円